

令和2年度版 改善計画

学校名：甲斐市立竜王南小学校

No.	項目	現状と課題	R3年度に目指すべき状態	①R2年度に実施する内容 ②R3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	職員会議の議事項目が多く、会議の設定時間に無理が生じている。特別支援委員会と生徒指導委員会の議題内容が混在している。	協議事項以外は、校務支援システムで済ませ、議事項目の精選を図る。終礼の活用化を図る。	①職員会議の議事項目について、A指示事項B協議事項C連絡事項の点について見直し、B協議事項の縮減を図る。 ②連絡事項となった内容については、校内ブログで対応できるか検討する。また、ペーパーレス会議の効果と課題の検討を行う。	
2	学校行事の負担軽減	運動会の練習、林間学校や修学旅行の準備のための時間など、学校行事に関わる準備に時間を要してしまう。	学校行事の適切な取組期間や取組時間にしていく。	①学校行事の反省を行い、取組期間・取組時間が適切であるか検証する。 ①PTA新聞の発行を年2回から1回にする。 ②R2年度の反省を元に、具体的な改善内容について検討する。	
3	校内組織の見直し	若手教職員が多く、中規模校の為、一人一分掌としての担当が可能である。	教職員の年齢層や経験知から、校務分掌の見直しをさらに進める。	①校内研究・校務分掌の複数体制により、負担が軽減できる組織体制にする。 ②委員会・クラブ活動等削減や合併化の検討。	
4	業務の効率化	校務支援システムは導入され、効率化が進んでいるが、情報共有伝達に課題がある。	電子化の進展と連動した業務の時間的効率化を図る。複数担当者性の活用を図る。	①職員が電子システムをスムーズに使いこなせるようにミドルリーダーや若手教員の活用に取り組む。 ②情報のデータ処理化をさらに進めるための方策について検討する。	
5	部活動の負担軽減				
6	地域人材の活用	地域ボランティアや学生ボランティアを活用する体制は整ってきているが、職員が積極的に活用できていない。	学校の課題解決に向けて、地域・学生ボランティアを有効に活用する。	①地域・学生ボランティアを効果的に活用するための計画をPTA役員と連携して立てる。 ②多くの地域ボランティア、学生ボランティアを積極的に活用していくように職員への意識啓発の取組を検討する。	
7	校務支援システム の多機能化	校務支援システムによる掲示板や事務処理機能しているが、成績・学籍については不十分である。	校務支援システムの多くの機能について8割以上の職員が利用できる。	①校内支援システムのさらなる改善を要望する。 ②新しい校務支援システムの内容について検討し実現に向けてさらに要望する。	
8	勤務時間の 管理	勤務時間記録の集計を行っているが、時間外勤務はまだ多い状況にある。	月毎の時間外勤務を適正な範囲にする。	①第1、3木曜日を定時退校日とし、月の時間外勤務が80時間以上となる職員へ指導する。 ②時間外勤務をR1年度比、1割減にするための勤務態勢の有り様について検討する。	

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村教育委員会へ提出する。

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

※様式は、必要な項目が含まれていれば、適宜、変更して使用して差し支えないこと。

「きずなの日」の実施予定回数（22）回

令和2年度4月1日時点での設定回数

